

知事賞

私たちの大事な水

不二聖心女子学院中学校

二年 石川 さん

私の住む三島市は、「水の都」と呼ばれ、湧水を誇る街です。市内の川の水はとてもきれいで、毎年夏には暑さを避ける多くの子供たちや観光客でにぎわいを見せています。私も幼い頃、姉や祖父と一緒に虫かごや虫取り網を手に出かけ、桜川の生き物を捕まえては観察していました。桜川の中をのぞくと、さまざまな形の石や見たこともない生き物が多くいて、それは本当に不思議な光景でした。また、家の近くにある楽寿園の小浜池が満水になり、その周りの豊かな緑とともに見る景色は本当に美しかったです。

しかし今、三島市の水は、「開発」という人間の行動によって壊されようとしています。それは三島駅南口の駅前再開発事業です。高層マンションやホテル、駐車場などの建設が計画されているそうです。

開発によって街は豊かになります。それでは何が問題なのでしょう。開発と水にはどのような関わりがあるのでしょうか。調べてみると、現在計画中の高層ホテルは、十三階以上、高さにすると三十メートル以上の建物になることがわかりました。それだけの高い建物を建てるためには、基礎工事といって地盤を十メートル以上掘削する必要があります。地面を十メートル以上掘る、この作業が、三島市の湧水の元となる地下水を断水させる可能性があるのです。この建設によって、私が幼い頃から見ている楽寿

園の小浜池や、多くの人々の努力によって生まれ変わった源兵衛川にまで危機が迫ってしまいます。美しい「水の都」ならではの大切な魅力が壊されてしまうかもしれないのです。

私は、この問題に対して三島市は地下水の安全保障を調べているかが気になりました。調べてみると、市による地質調査や分析、地下水の保全対策が行われていることがわかりました。しかし、自然は人間の力ではわかり知れないとても大きな力であり、人間がすべての可能性を理解するのは不可能ではないかと私は思います。現在静岡県では、同じ理由でリニアモーターカーの建設にも反対運動が起こっています。地下水の安全が完全に保障されるわけではないのです。

美しい三島市の自然を壊すくらいなら、開発をしないありのままの三島市のほうが魅力的だと私は思います。私は三島市の美しい湧水や川を守りたいです。開発してもし、水に影響が出なかったとしても、この開発をするのか、しないのかの判断は、三島市の郷土愛に大きく影響すると思います。

昨年から今年にかけて、それまで元気よく流れていた川の勢いがなくなり、枯れてきているように感じます。その川は、毎年秋から冬にかけて水量が少し減りますが、夏に

なってもあまり増えない川の水に、私はとても悲しい気持ちになりました。水が枯れたため、水の中で元気に遊んでいた子供たちや大好きだった生き物も少し違って見えます。少し前に建設されたホテルによる工事で、驚くほど景色が変わりました。確かに、ホテル内にはおいしいレストランもあり、利用する人の笑顔も多く見られます。しかし、その陰で、自然が壊れていることや、三島市の誇る水の命が絶えそうなことを、もっと三島市の人に知ってほしいです。

ホテルや高層マンションの建設によって人や経済が動き、市が豊かになることはあります。しかし、それは自然との共存、自然と市と、どちらも豊かになる方法で行ってほしいと心から願います。私は三島市の命の水を絶やすことがないように、今述べたような自分の考えを周囲に広げ、共有していきたいです。また、自分の生活の中でも、「水」という存在に対して改めて考え、毎日感謝を忘れず大切に使用していきたいです。そして、私たちの誇りである大事な水を守るよう、力を尽くしていきたいです。